

令和7年度 在宅医療・介護連携推進事業 取り組み計画について

令和7年 在宅医療・介護連携推進事業連絡協議会
いちき串木野市長寿介護課 在宅医療介護連携推進室

コーディネーター 南新 敦子

令和7年6月24日

在宅医療・介護連携の推進

○医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関(※)が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要。

(※)在宅医療を支える関係機関の例

- ・診療所・在宅療養支援診療所・歯科診療所等(定期的な訪問診療等の実施)
- ・病院・在宅療養支援病院・診療所(有床診療所)など(急変時の診療・一時的な入院の受入の実施)
- ・訪問看護事業所、薬局(医療機関と連携し、服薬管理や点滴・褥瘡処置等の医療処置、看取りケアの実施等)
- ・介護サービス事業所(入浴、排泄、食事等の介護の実施)

○このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、都道府県・保健所の支援の下、市区町村が中心となって、地域の医師会などと緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進する。



いちき串木野市地域包括支援センター
在宅医療・介護連携支援に関する窓口

- ・地域の医療・介護関係者による会議の開催
- ・在宅医療・介護連携に関する相談の受付
- ・在宅医療・介護関係者の研修 等



関係機関の
連携体制の
構築支援

後方支援、
広域調整等の支援

都道府県・保健所

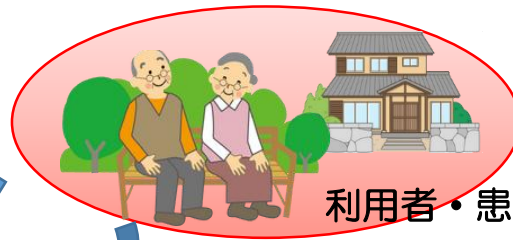


在宅療養支援診療所等

訪問診療

訪問診療

在宅療養支援病院・
診療所(有床診療所)等



利用者・患者

一時入院

(急変時の診療や一時受け入れ)

介護サービス

訪問看護等



介護サービス事業所
デイサービス
老人ホームなど



訪問看護事業所、薬局等

令和7年度～事業運営体制

いちき串木野市在宅医療介護連携推進協議会

推進チーム連絡会

お家に帰ろう班
在宅医療体制
の構築

歯・口腔ケア
食のサポート

看護管理者
交流会チーム

情報ネットワーク
MCS推進チーム

交流研修会

医療・介護
関係機関の連携

いちき串木野の
ACP（地域づくり
最前線チーム）

医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 消防 ・ 看護師 ・ 管理栄養士 ・ 作業療法士
・ 理学療法士 ・ 言語聴覚士 ・ 社会福祉士 ・ 介護支援専門員 ・ 介護福祉士
・ 地域包括支援センター ・ 行政 等 延べ40名の多職種で構成しています

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで
続ける事が出来る “いちき串木野市”

【達成目標】

地域住民が安心して、満足できる在宅生活が継続できる

- 1). 在宅医療の体制を整備する(医師の体制づくり)
- 2). 多職種がお互いの役割について、理解ができている
- 3). 医療・介護職それぞれが在宅医療に対する知識・技術を高める
- 4). 地域住民が在宅医療のことを知る

在宅医療と介護連携イメージ(在宅医療の4場面別にみた連携の推進)



推進チームリーダーミーティング

R7年5月15日 実施

・今年度、第1回の推進チームリーダーミーティングを開催
今年度各チームの取り組みについて協議し情報共有を図って行っています

- ・**歯・口腔ケア・食のサポートチーム**: 前年の継続した摂食嚥下に関わる「ひっかけん体操」の周知を目的とした出前講座の実施 ・地域栄養士の交流会開催
- ・**ACPチーム**: ACP取り組みの事例を交えた研修会・勉強会の開催
- ・**看護管理者の交流会チーム**: 地域外医療機関や多職種交流会の開催
- ・**MCS推進チーム**: 利用者ユーザー会の開催、ITリテラシー向上のための情報提供
- ・**医療と介護の連携チーム**: 仲間意識を強くしていくための交流会、高齢者・小児・障害者施設も含めた連携、交流を行う場をつくる
- ・**交流会チーム**: 他チームと協力した交流会開催、職場体験交流の実施
- ・**うちに帰ろう班**: 看取り支援グループによる看取り支援状況把握を含めた医師との意見交換と情報共有



- ・災害対応について行政、医療・介護関係機関でどのように連携しながら地域住民を支援していくかそのためにどのような取り組みが必要である
- ・人材育成: 在宅医療に関する知識、エンドオブライフケアについてなど研修を受けたものが地域関係機関へ知識を伝える人材を育成して地域全体のレベルアップを図る取り組みも必要ではないか
- ・学校教育の現場などで在宅医療・介護のことや、地域災害支援などについて子供たちに伝えていくことも必要

令和7年度～推進チーム活動計画表(案)

推進チーム	推進チーム活動実施項目	在宅療養4場面
①歯・口腔ケア・食のサポート	・口腔ケア、摂食嚥下・栄養についての研修会の開催 ・地域栄養士さんの交流会・研修会開催 ・ひっかけん体操DVD活用の周知、並びに地域への広報活動 【予算計画】 ひっかけん体操DVD・摂食嚥下についての出前講座実施(対象:介護施設・サービス事業所) チームミーティング実施及び研修会開催に関する講師料など	日常の療養支援
②看護管理者の集まり	・定期的な看護師長会・交流会の開催 【内容】 看護管理者交流会・多職種との交流会も検討して行く 管理者としてのマネジメント力向上に向けた研修 退院支援のスムーズな連携 ・専門講師による講演会・研修会の実施 【予算計画】 ミーティング実施・研修会に関する講演会講師料など	日常の療養支援 入退院支援 急変時の対応
③MCS推進	・利用促進のための説明会・事例検討会・ユーザー会ニュースレター、MCSTip'sの配信 ・医療・介護職のITリテラシーが高まる情報発信 【予算計画】 ユーザー会開催等の講師料・研修費用・ミーティング実施・人材育成における研修会派遣	入退院支援 日常の療養支援 看取り支援
④交流研修	・多職種の交流会企画開催について、他推進チームと協力し進めて行く 【予算計画】 ミーティング実施・交流会開催経費・職場体験交流研修	日常の療養支援 入退院支援
⑤医療・介護関係機関の連携	・医療と介護の連携に関わる交流会の開催:(仲間意識を強くしていく交流を意識する) ・高齢者、小児、障害者に関わる事業所との連携や交流会等を考えていく ・地域医療機関と介護機関が温度差なく、退院支援ルールのツールを活用し退院支援につなげる 【予算計画】 ミーティング実施 交流会開催費用	日常の療養支援 入退院支援 看取り支援
⑥いちき串木野版ACP	・ACPチラシの理解、活用促進に向けた研修会の実施 ・ACPの取り組みの事例を基にした勉強会の開催 ・看取りに関するパンフレット作成に向けての協議 ・ACPについての人材育成のための研修会参加 【予算計画】 ミーティング実施 研修会開催	日常の療養支援 看取り支援
⑦お家に帰ろう班	・看取り支援グループ運用について情報共有を図って行く ・救急隊との連携、情報共有	急変時の対応 看取り支援 日常の療養支援

【歯・口腔ケア・食のサポートチームミーティング 6月10日実施】

2025年
目標

地域のより良い口腔・食について考え、計画実践していく

- ①医療、介護施設への口腔嚥下機能低下予防体操の説明
- ②口腔・食のチーム内外で顔の見えるチーム作りを行う
(栄養士中心の交流会の実施)
- ③口腔、食についての研修会の実施

- ・ひっかけん体操DVD活用を含めた口腔嚥下予防体操の出前講座実施に向けた計画として、実施件数拡大に向けてDVD未配布の施設(グループホームを中心)にDVDと出前講座案内を持参し促進を図る(5施設実施を目指す)
- ・栄養士の交流会開催に向けて、地域栄養士の在駐状況をチームで共有し、交流会の内容(研修会を盛り込むか・・・)、開催時期、案内方法などなどについて協議し計画を進めていく
(チーム員の管理栄養士と地域栄養士数名で交流会内容について、話し合いを行い具体的内容を詰めていく)
- ・その他チームとして摂食嚥下、口腔、栄養について研修会について研修内容等について協議を行う(災害時の食、口腔ケア、排泄の対策、福祉用具情報についての勉強会)



住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで
続ける事が出来る “いちき串木野市”

【達成目標】

地域住民が安心して、満足できる在宅生活が継続できる

- 1). 在宅医療の体制を整備する(医師の体制づくり)
- 2). 多職種がお互いの役割について、理解ができている
- 3). 医療・介護職それぞれが在宅医療に対する知識・技術を高める
- 4). 地域住民が在宅医療のことを知る

1)在宅医療の体制を整備する

いちき串木野 訪問診療の医療機関(R7年4月時点)

医療機関名	往診対応	訪問診療対応
花牟禮病院	○	○(応相談)月・火PM
丸田病院	○	○(応相談)
えんでん内科クリニック		○(応相談)
新山内科医院	○	
市来内科	○	○(応相談)
藤井クリニック	○	
ふじいクリニック串木野	○	
ふくもと整形外科内科クリニック	○	
京町内科脳神経クリニック	○	○(応相談)
春田クリニック	○	
串木野内科・循環器科	○	○(応相談)
金子病院	○	○(応相談)
さゆりクリニック	○	
野辺ひふ科クリニック	○	
牧野医院	○	○(応相談)
リミ眼科	○	

いちき串木野 訪問診療の歯科(R7年4月時点)

医療機関名	訪問診療対応	備考
あおい歯科	○	
えとう歯科	○	
かずき歯科		
くきた歯科クリニック	○	
なかしま歯科医院	○	
ひまわり歯科医院	△	応相談(連絡次第にて)
前田歯科	○	
マコト歯科医院	○	
みどり歯科医院	○	

いちき串木野 在宅医療の薬局(R7年4月時点)

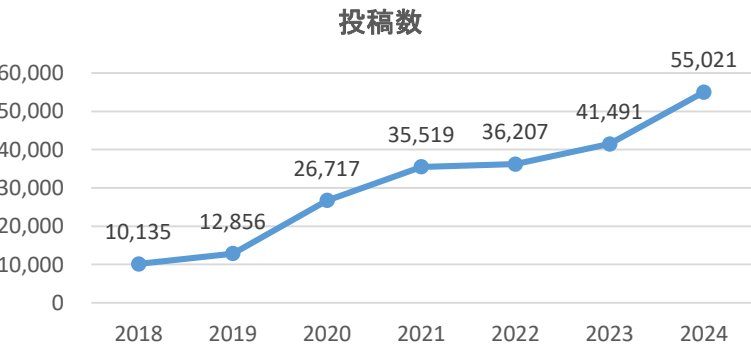
医療機関名	在宅医療	
アクア薬局	○	介護
串木野調剤薬局	○	医療
さのさ調剤薬局	○	医療 介護
すこやか調剤薬局 坂下店	○	医療 介護
すこやか調剤薬局 別府店	○	医療 介護
すこやか調剤薬局 元町店	○	医療 介護
とまと薬局	○	医療 介護
虹色薬局	○	医療 介護
ニューことぶき調剤薬局	○	医療
(有)保険調剤つばさ薬局串木野	○	医療 介護
みやび薬局 市来店	○	医療 介護
ゆうき薬局 市来店	○	医療 介護

【いちき串木野市の在宅訪問サービス】(R7年4月状況)

サービス内容	施設名	所在地	利用する保険
訪問看護ステーション	「さくら」	いちき串木野市生福(脳神経外科センター)	医療保険・介護保険
	「こじか」	いちき串木野市湊町	医療保険・介護保険
	「きなり」	いちき串木野市春日町	医療保険・介護保険
	「ほがらか」	いちき串木野市大里(市来内科・ひふ科)	医療保険・介護保険
訪問リハビリ	金子病院	いちき串木野市照島	介護保険
	春田クリニック	いちき串木野市春日町	介護保険
	丸田病院	いちき串木野市旭町	介護保険
	花牟禮病院	いちき串木野市元町	介護保険
	ライフハーバーいちき	いちき串木野市大里	介護保険
訪問介護	市来ヘルパー ステーション	いちき串木野市 湊町	介護保険

いちき串木野市M C S（メディカルケアステーション）運用状況

			アカウント取得者数(職種別)													
西暦	登録 施設数	登録 患者数	医師	歯科 医師	薬剤師	看護師	リハ PT OT ST	栄養士	介護支援 専門員	社会 福祉士	介護 福祉士	介護士	歯科 衛生士	事務 職	その他	小計
2017年	30	65	23	2	2	44	7	2	23	2	2	3	1	13	5	129
2018年	42	131	26	2	7	63	16	2	28	3	4	4	1	17	9	182
2019年	52	195	27	2	7	61	24	2	29	4	6	4	1	15	17	199
2020年	52	209	26	2	3	59	23	2	29	5	7	3	1	8	33	201
2021年	64	234	26	2	4	64	29	2	43	11	28	3	1	9	44	266
2022年	73	254	25	3	9	88	37	2	49	11	39	3	1	10	44	321
2023年	80	280	25	3	10	93	43	2	38	13	38	その他に 含む	1	10	65	341
2024年	86	418	28	4	11	95	53	2	54	13	44	3	1	10	53	349



※職業重複あり

MCS（メディカルケアステーション）
在宅医療・介護を受ける方々の、かかりつけ医や看護師、薬剤師、ケアマネジャー、ヘルパー、その他職種がインターネットを使って、スムーズな連携・情報共有を行います。
地域関係職種の連携・情報共有のための重要ツールとなっています。

投稿累計数は全国1位です

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで
続ける事が出来る “いちき串木野市”

【達成目標】

地域住民が安心して、満足できる在宅生活が継続できる

- 1). 在宅医療の体制を整備する(医師の体制づくり)
- 2). 多職種がお互いの役割について、理解ができている
- 3). 医療・介護職それぞれが在宅医療に対する知識・技術を高める
- 4). 地域住民が在宅医療のことを知る

2) 多職種がおたがいの役割について理解ができている

地域リハビリ職の懇親会開催

地域療法士繋がる関係性を深める
強靱なネットワークを拡大していく
医療・介護に関わる支援の輪を広げていく



いちき串木野市におけるリハビリテーションネットワーク懇親会
令和7年4月12日開催 濱田酒造伝兵衛蔵(会費制)

参加状況: 医療・介護関係機関 9か所 総数31名

理学療法士 12名

作業療法士 9名

言語聴覚士 2名

地域包括支援センター 4名 事務局3名

地域リハ職の顔を繋ぐ・・・(それぞれの所属など)

リハビリの専門職として地域にどのように貢献していきたいか

専門的立場として求められる事を考え、地域の人にも知ってもらう活動についてなど・・・様々な想いが繋がり、地域支援につながっていく、語り合いの場となる

日置市合同によるリハビリネットワーク懇親会
令和7年6月7日開催 十八番館 (会費制)

参加状況: 医療介護関係機関 18か所

日置市 27名 いちき串木野市 28名 総数55名

理学療法士 23名

作業療法士 16名

言語聴覚士 5名

学 生 1名

地域包括支援センター 10名

近隣市の地域リハの情報交換の場とする

地域リハの取り組み等について、情報共有を行うことにより、住民のみなさんや所属施設に還元できることを期待する

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで
続ける事が出来る “いちき串木野市”

【達成目標】

地域住民が安心して、満足できる在宅生活が継続できる

- 1). 在宅医療の体制を整備する(医師の体制づくり)
- 2). 多職種がお互いの役割について、理解ができている
- 3). 医療・介護職それぞれが在宅医療に対する知識・技術を高める
- 4). 地域住民が在宅医療のことを知る

3) 医療・介護職それぞれが在宅医療に対する知識技術を高める 摂食嚥下・ひっかけん体操DVD利用説明 出前講座

ひっかけん体操DVDの有効的な活用を地域に広げる
楽しく食べる・笑顔で会話する・できるだけ長く、口から食べる・誤嚥性肺炎を予防する
摂食嚥下についての講座実施

5月19日
市来デイサービス
センター
スタッフ 7名
利用者15名



“うんうん”と一つ
一つの説明に、肯
きながら熱心に聴
いて頂きました



5月21日
デイサービス
音いろ
スタッフ 6名
利用者10名
見学中学生2名

話が終わって
“楽しかった
また来てください
”

と声をかけて頂
きました

ひっかけん体操前の顔や口のマッサージや、DVDに合わせて大きく口を開い
て声を出したりと楽しく体操を行いました

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで
続ける事が出来る “いちき串木野市”

【達成目標】

地域住民が安心して、満足できる在宅生活が継続できる

- 1). 在宅医療の体制を整備する(医師の体制づくり)
- 2). 多職種がお互いの役割について、理解ができている
- 3). 医療・介護職それぞれが在宅医療に対する知識・技術を高める
- 4). 地域住民が在宅医療のことを知る

4) 地域住民が在宅医療のことを知る

地域住民への在宅医療についての広報

- ①出前講座
 - ②広報紙への掲載
 - ③市ホームページ
- 取り組み紹介

ACPについての講話を実施

- ①ACPについて説明(ACPチラシに沿って説明する・・・)
- ②ACPのDVDを視聴(県作成によるDVD使用)
- ③ACPチラシを見て一緒に話してみる

地域の人々が理解しやすい、イメージしやすい、知ってもらう

“人生の最期の時の過ごし方について考えてみよう”と思ってもらう

質問 あなたにとって大切なことはどんなことですか？ もし生きる時間が限られていたら

わたしが大事なものはこれこれ

- ☐ 家族や友人のそばにいたいこと
- ☐ 仕事や社会的な役割が認められること
- ☐ 自身の望みのことが自分ですること
- ☐ できる限りの治療を受けられること
- ☐ 経済的に困らないこと
- ☐ 痛みや苦しみが少ないこと

あなたはどうか思う？

①あなたも以下の中から選んでチェックしてみてください。(複数回答可)

- ☐ 家族や友人のそばにいたいこと
- ☐ 仕事や社会的な役割が認められること
- ☐ 自身の望みのことが自分ですること
- ☐ できる限りの治療を受けられること
- ☐ 経済的に困らないこと
- ☐ 痛みや苦しみが少ないこと
- ☐ そのほかのこと

②そう思う理由も書いてみてください

いざ“そのとき”がきたら考えられないかも
実際70%の人は望みを伝えられていない
命の危機が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。

だから今
信頼できる人は誰か考えてみましょう。

そうか！いざという時に代弁してくれるような、自分のことをわかってくれる“味方”を作っておくことが大事じゃね！

信頼できる人は人それぞれ、あなたにとっての信頼できる人は誰なのかを考えてみましょう。

家族、友人、近所、地域、医療、介護、行政、宗教、その他

話し合いましょう 大切なこと、医療やケア、暮らしについて

家族と
かかりつけ医や看護士と
親しい友人と

よか機会じゃ！これは安心できるね
息子や娘にも話しておこう

このようにことを【人生会議】ACP(アドバンス・ケア・プランニング)と呼びます。

例えばこんな「もしものとき」どうしたいですか？

医療 口から食べられなくなったとしたら胃ろう(胃に穴を開けて栄養を送る)をしますか？

暮らし 寝たきりの状態になったとしたらどこで過ごしたいですか？
認知症になったらどうしたいですか？

もう少し看護士さんと話さないといけません。食べられなくなっても、元気である方法があるのかな

できたら家にいたいけど、息子や娘はどう思ってるのかな

気持ちは変わるものです。だから何度も繰り返し話し合いましょう。
そのときのあなたの思いを伝えておくことが大切です。

あなたが大切なことは何か考えてみましょう

あなたが信頼できる代弁者は誰でしょう

話し合いの結果を伝えて共有しましょう

代弁者や周りの人と話し合いましょう

—いもち市木野市 在宅医療・介護連携推進事業 ACP版—

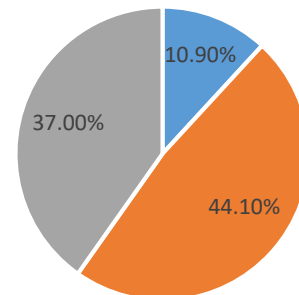
ACPチラシを見ながら流れに沿って自分にとって大切なもの、最期の時をどう過ごしたいか、だれに伝えておきたいか、などについて考えてもらう

<第9期介護保険事業計画の高齢者調査>

ACP:認知度・理解等について

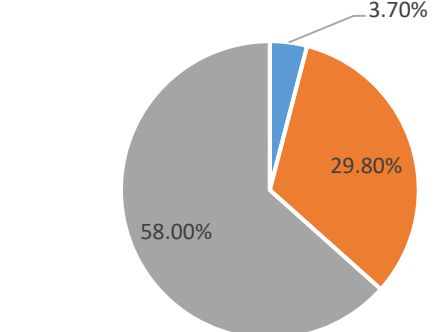
あなたは、人生の最終段階の医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと(アドバンス・ケア・プランニング)について、どのくらい知っていますか？

ACPの認知度について



■ よく知っている ■ 聞いたことはあるがよく知らない ■ 知らない

ACPの話し合いについて



■ 詳しく話し合っている ■ 一応話し合ったことがある ■ 話し合ったことがない

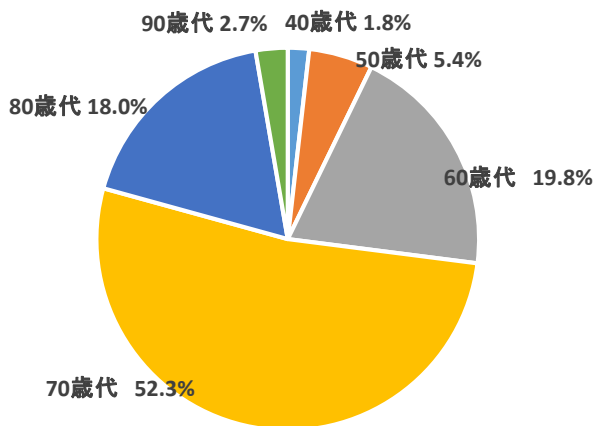
あなたは、ご自身の死が近い場合に受けた医療や療養、受けたくない医療や療養についてご家族等や医療・介護関係者とのくらい話し合ったことがありますか。

<地域公民館等での出前講座実施状況>

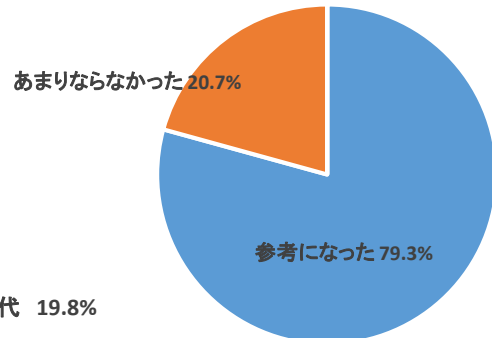
実施年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成31年 度(R1)	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	総数
参加数	810	516	327	151	64	64	338	349	161	2,780

R6年度集計

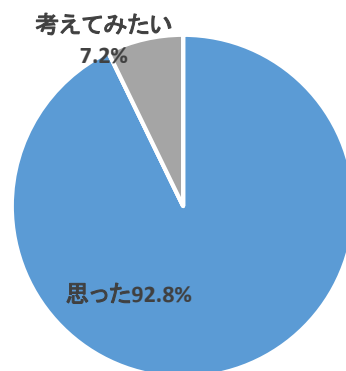
年齢別



参考になりましたか



話を聞いて、家族や大事な人と話をしたいと思いましたか



これまでの参加者の声

- ・大切なことだけど、なかなか話せないなあと改めておもいました(50代・女性)
- ・この様なビデオをもっとたくさんの人にみてもらいたい(70代・女性・その他)
- ・家族と話してある(70代・女性)
- ・人生会議はよかったです(70代・女性)
- ・介護をする側ではなく、される側での気持ちを聞きたいです(60代・女性・夫婦)・人生会議ってとっても大切なことだと思いました(70代・女性・ひとり暮らし)
- ・在宅医療も奥が深い事は先日の義父の死目前で、まえ痛感したが、人生会議についても考えてみたい。配偶者とも義父の死をもって、話をしたところでした。「大切なこと」なので、話をたくさんしておくかなあ？(60代・男性・その他)
- ・ACPの話、興味深かったです。特に構えなくても、日常の生活の中でできる話なのかな？と思いました(60代・女性・その他)
- ・介護事業所はいろんな対応ができる(違いがある)と思うが、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホーム...などの違いがよくわからないので教えてもらいたい(70代・女性)

今年度に向けた取り組みについて

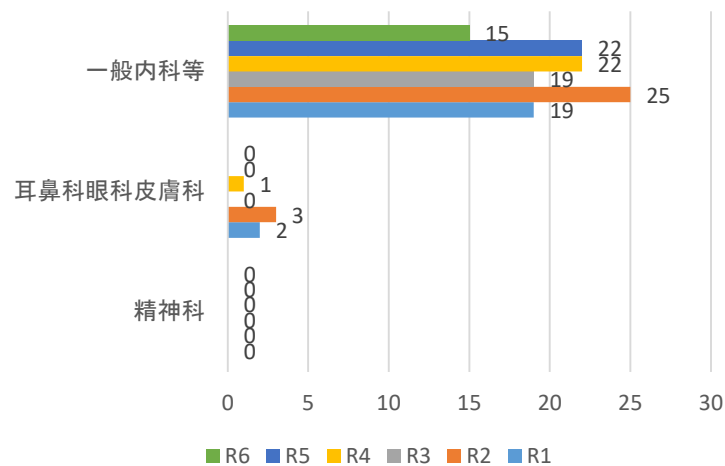
- 運営体制：推進チームについては継続して7グループの推進チームとの連携を図り進めて行くことが重要と考える。各チームとのミーティングを実施し、多職種交流会・研修会等の開催に向けた協議を進めて行く
- チームリーダーミーティングにて課題となった災害対応について推進チームと協議し内容等を検討して行く
- 地域住民への広報として、出前講座の実施、広報紙の掲載、並びに市のホームページを活用し、在宅医療、介護の情報提供・事業説明、推進チームの活動紹介を掲載していく予定としている

＜令和7年度在宅医療提供状況調査結果＞

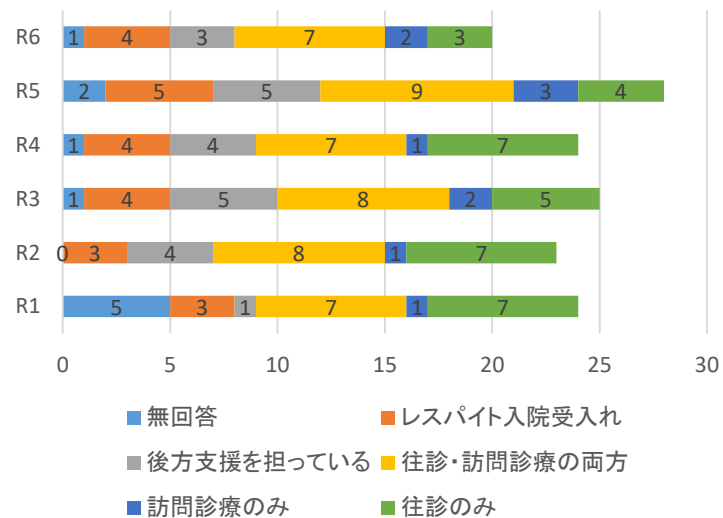
調査実施: 令和7年5月 基準日 令和7年4月1日現在

回答21件 配布医療機関26 回答率80.7%

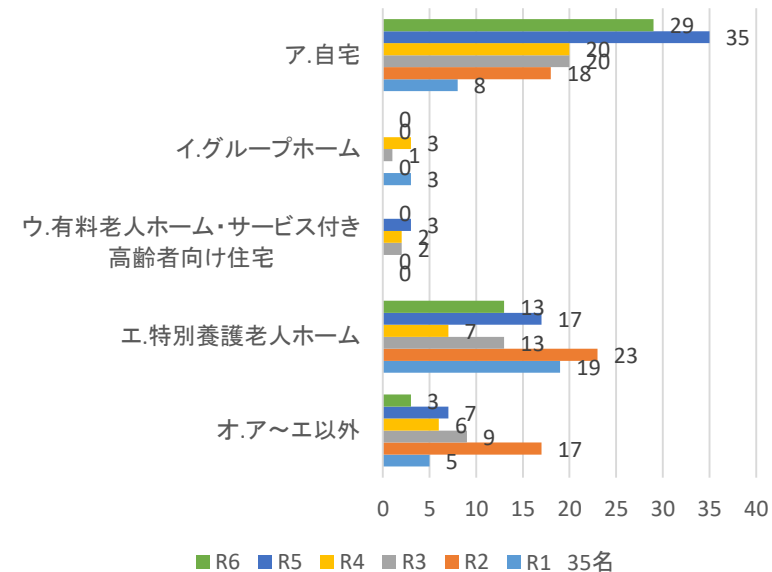
在宅医療に従事する医師数



在宅医療の取り組み状況



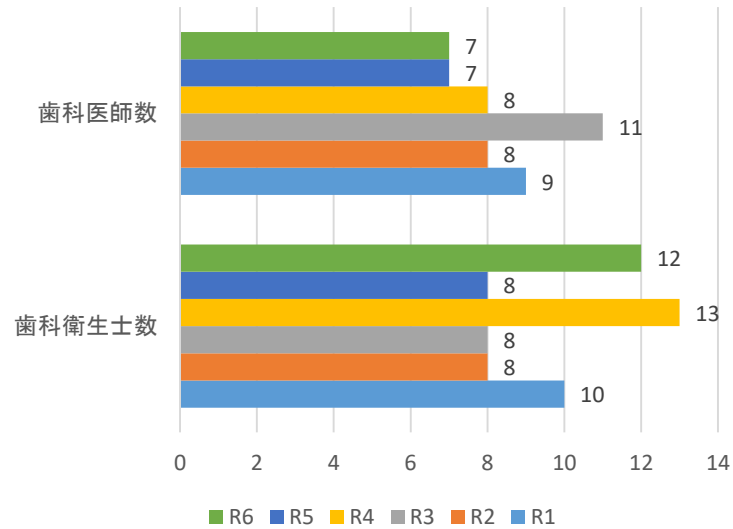
在宅医療を提供した患者の看取り数



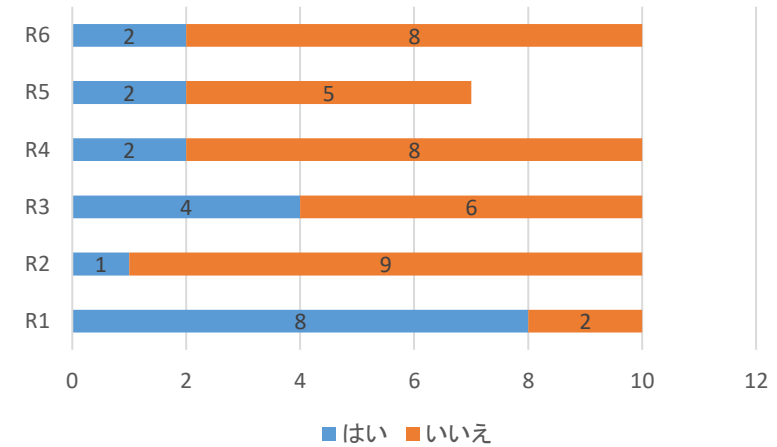
＜歯科医院における在宅医療提供状況＞ R7年度 回答数10件（歯科医院数13） 回答率:76.9%

R7年5月実施 基準日R7年4月1日現在

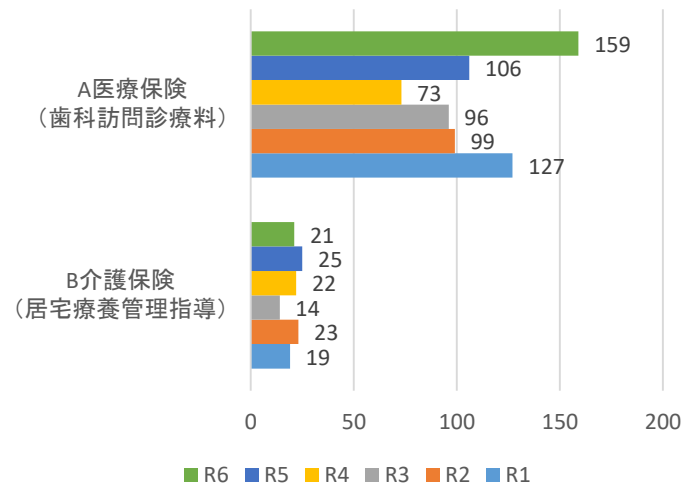
訪問歯科診療に関する歯科医師・衛生士数



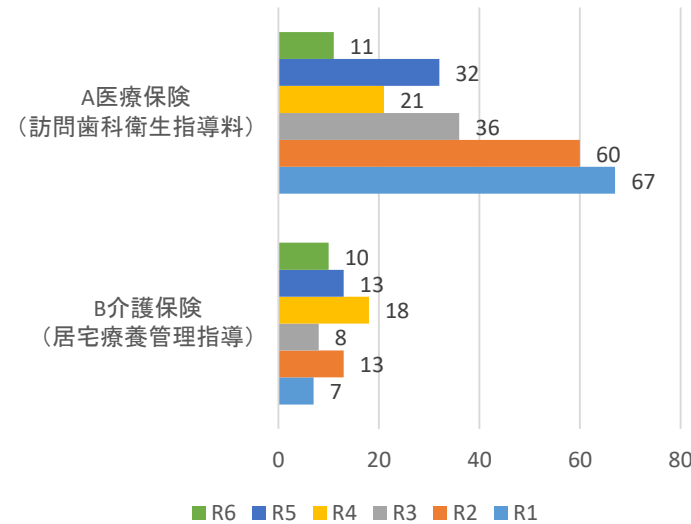
小児患者への訪問診療提供は可能ですか



①提供した患者数(医療保険)

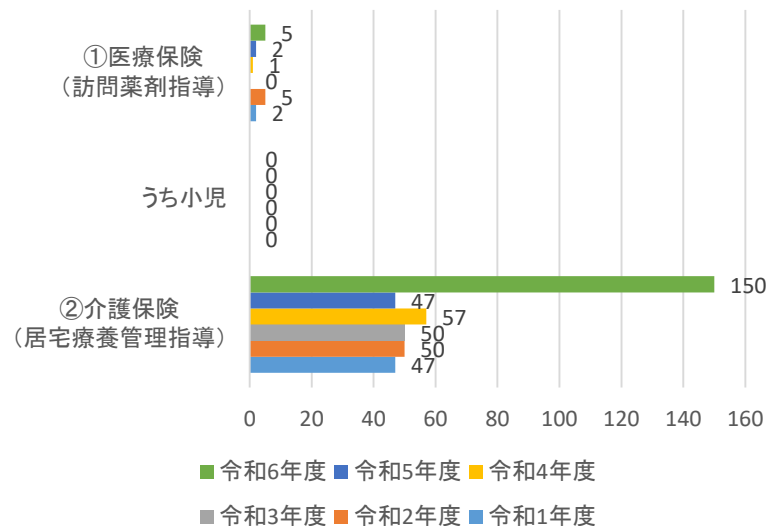


②訪問歯科衛生指導提供患者数

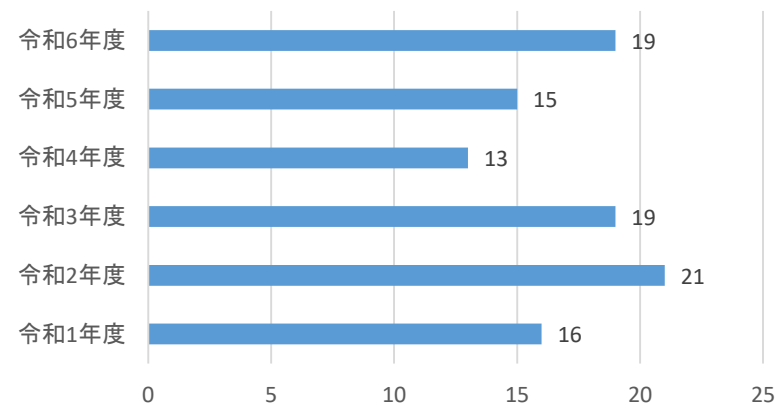


<調剤薬局における在宅医療提供状況> R7年度 回答件数14件(調剤薬局数16) 回答率87.5%

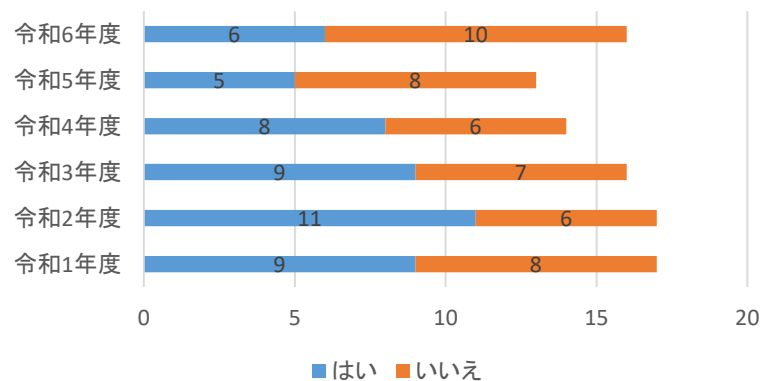
訪問薬剤指導を提供した患者数



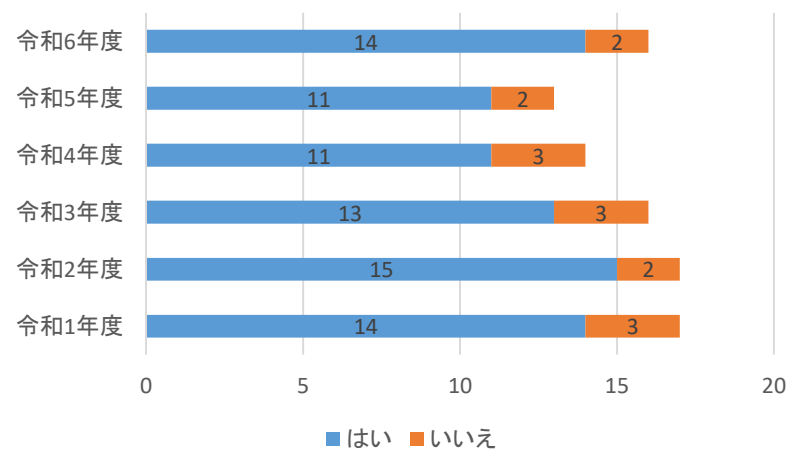
訪問薬剤指導に従事する薬剤師数



小児患者への訪問薬剤指導の提供は可能ですか

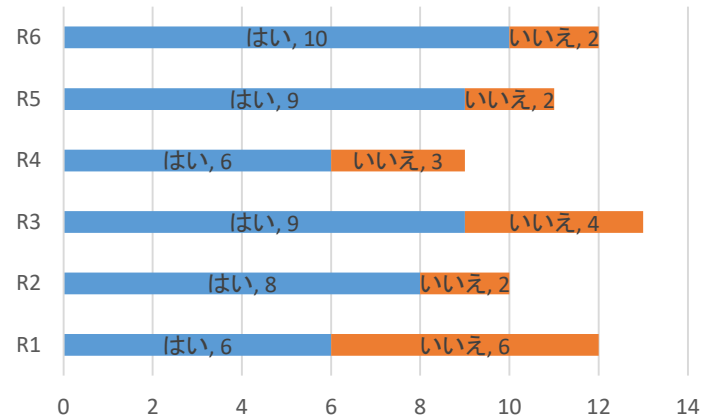


麻薬小売り業免許取得していますか

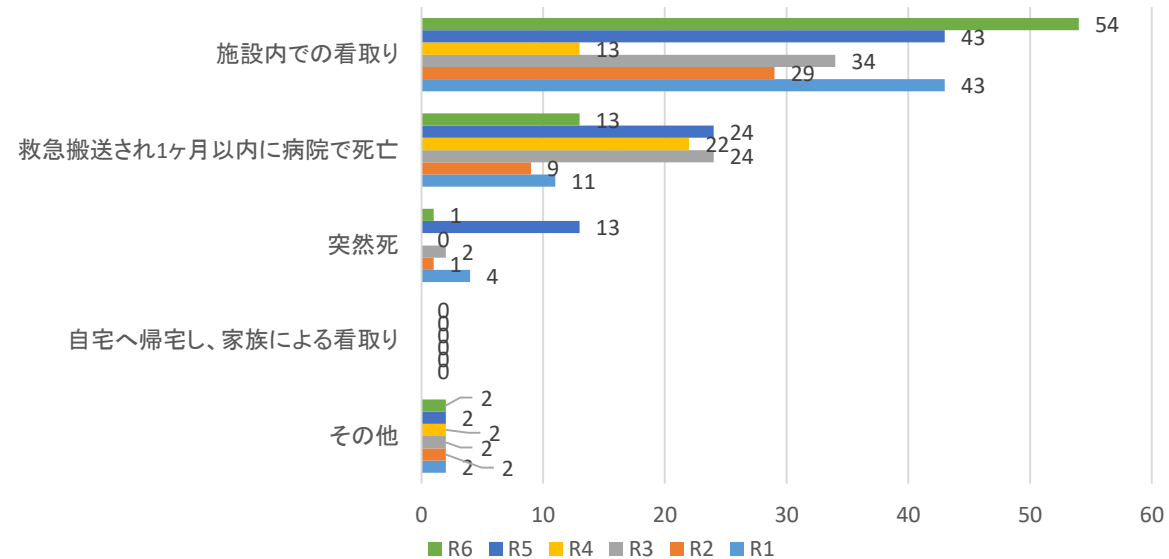


<介護施設における在宅医療の提供状況について> R7年度 回答数9件（施設数21） 42.8%
基準日R7年4月1日現在

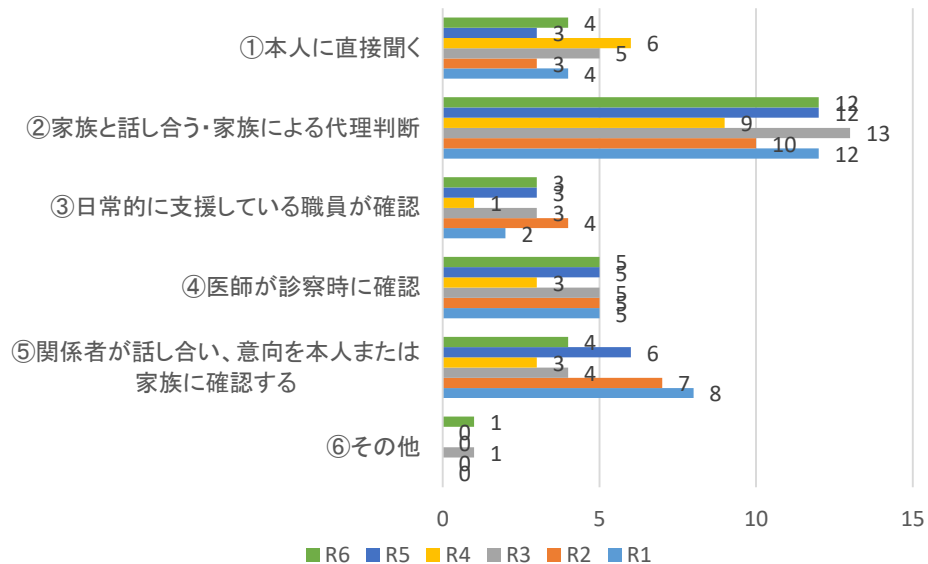
本人の希望に応じて看取りができますか



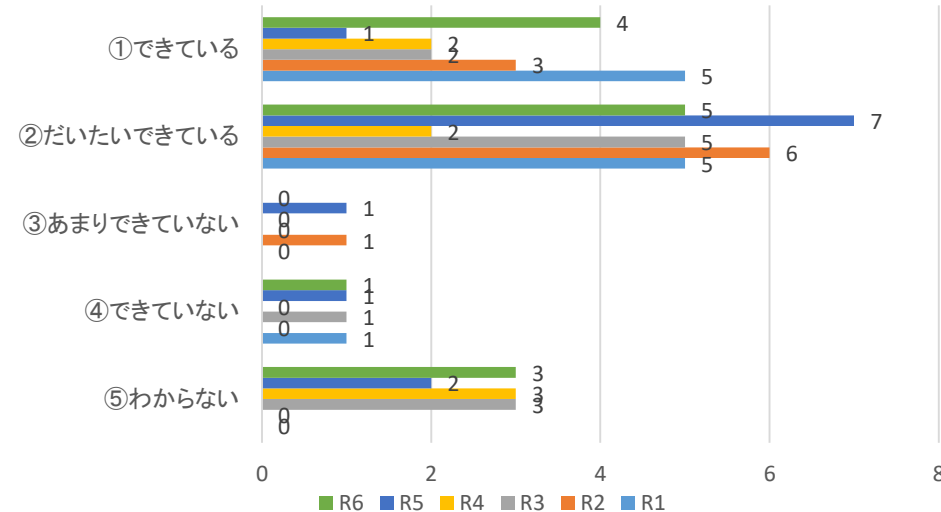
一年間の死亡数



ご本人の意向・意思を確認する方法

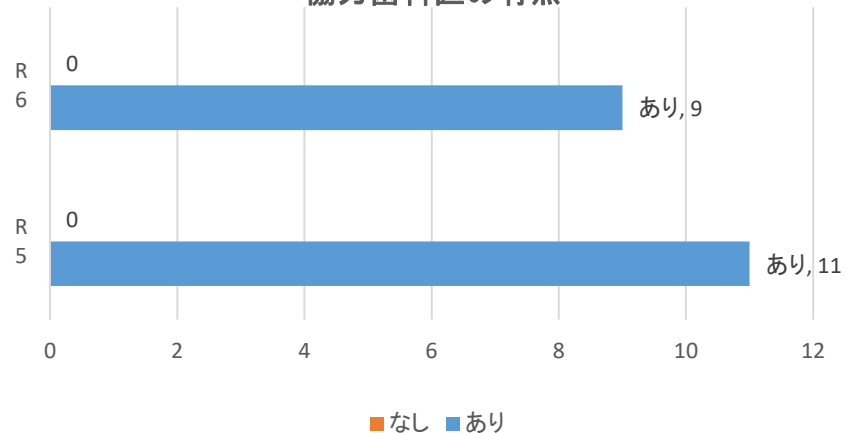


看取りについて、利用者家族との連携はスムーズか

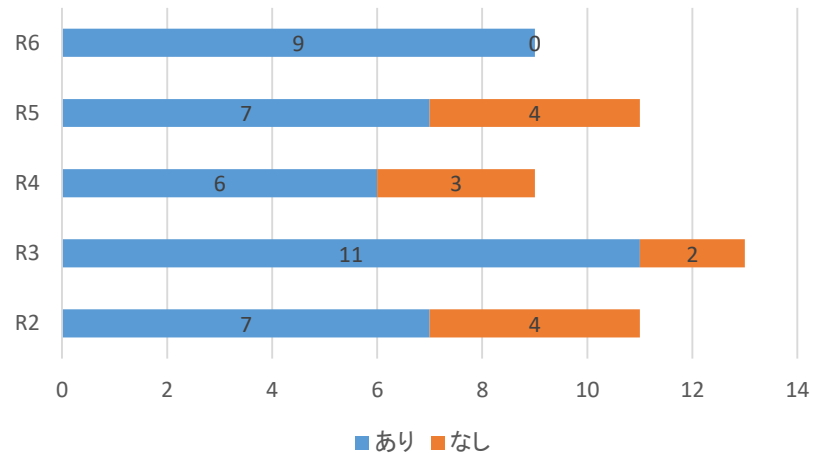


【介護施設】 協力歯科医療機関の関り状況

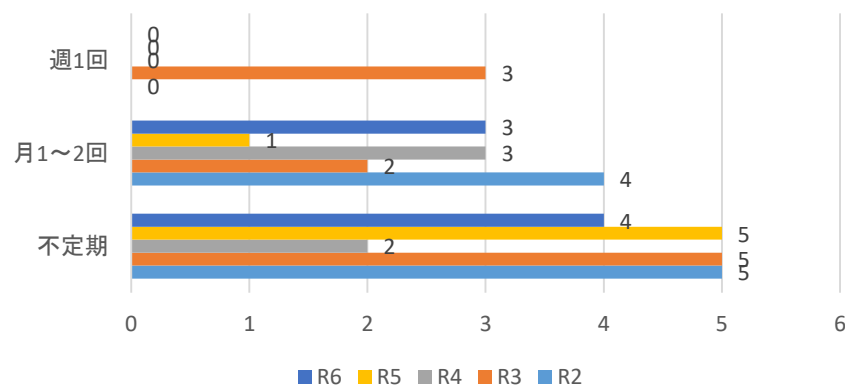
協力歯科医の有無



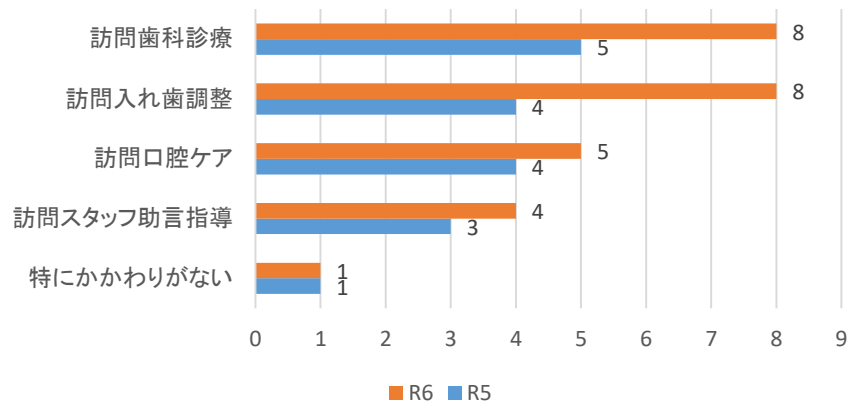
協力歯科医の訪問



訪問の頻度



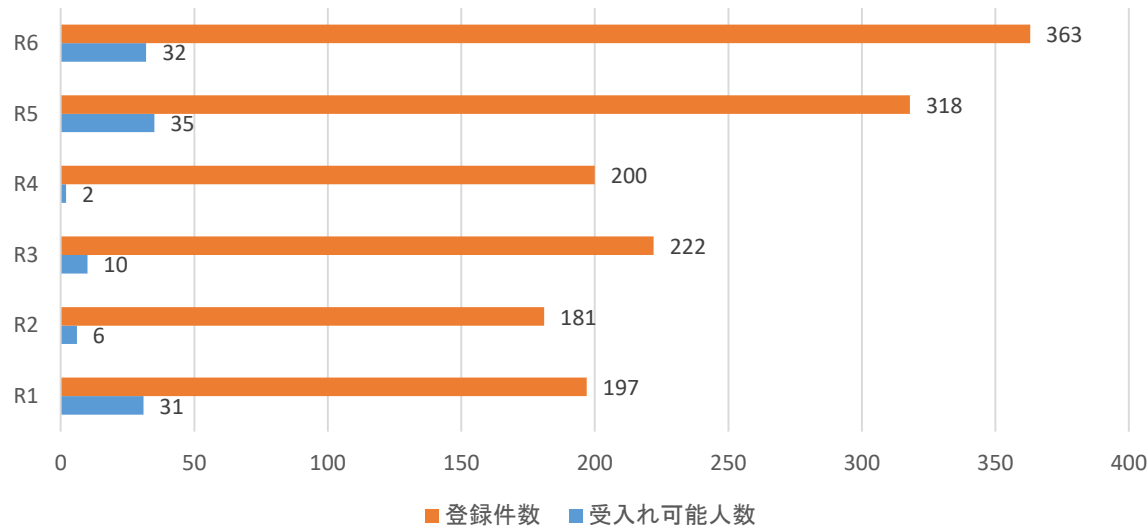
歯科医療機関へ依頼している項目
(複数回答)



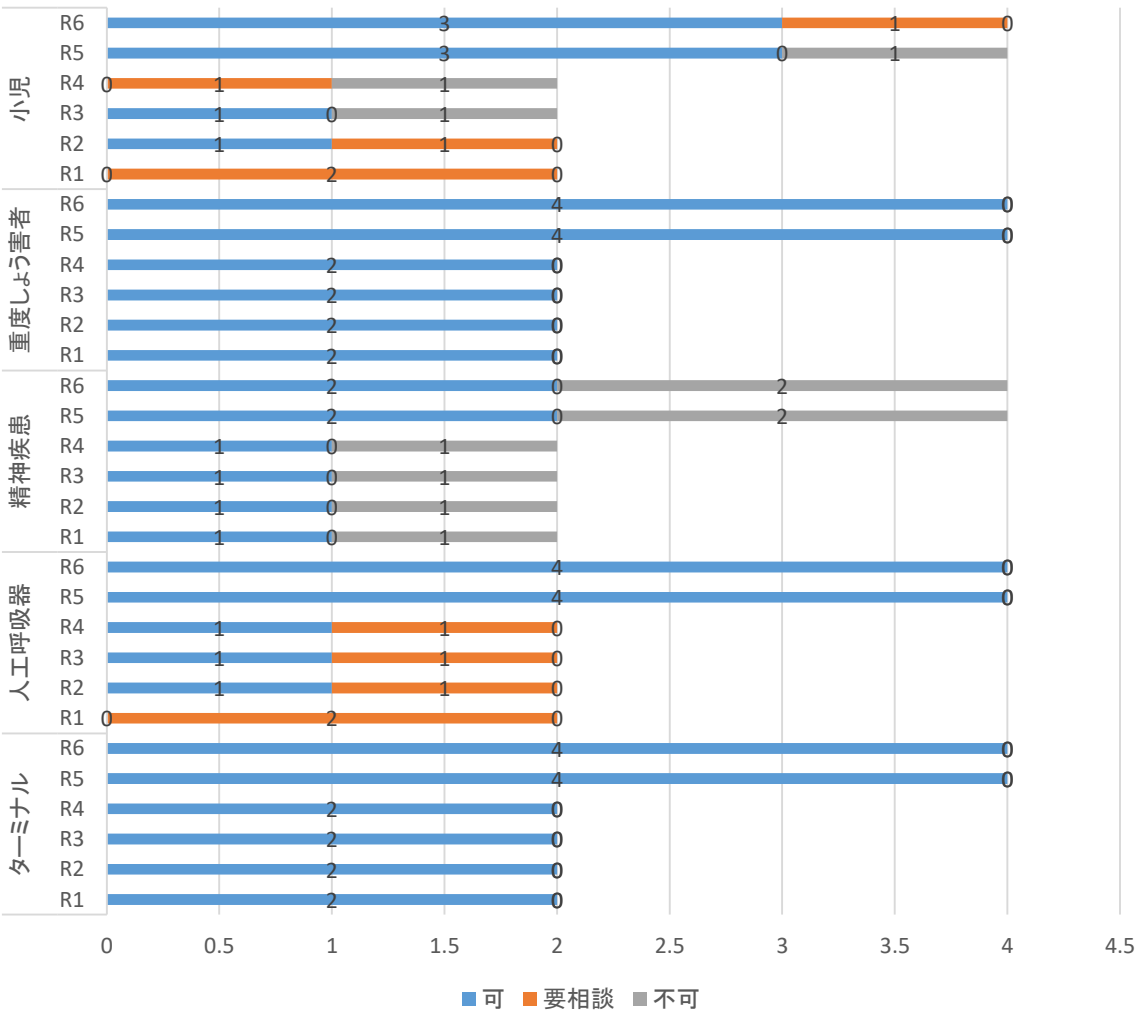
〈訪問看護における在宅医療の提供状況について〉

回答4件(訪問看護ステーション4) 100% 基準日R7年4月1日現在

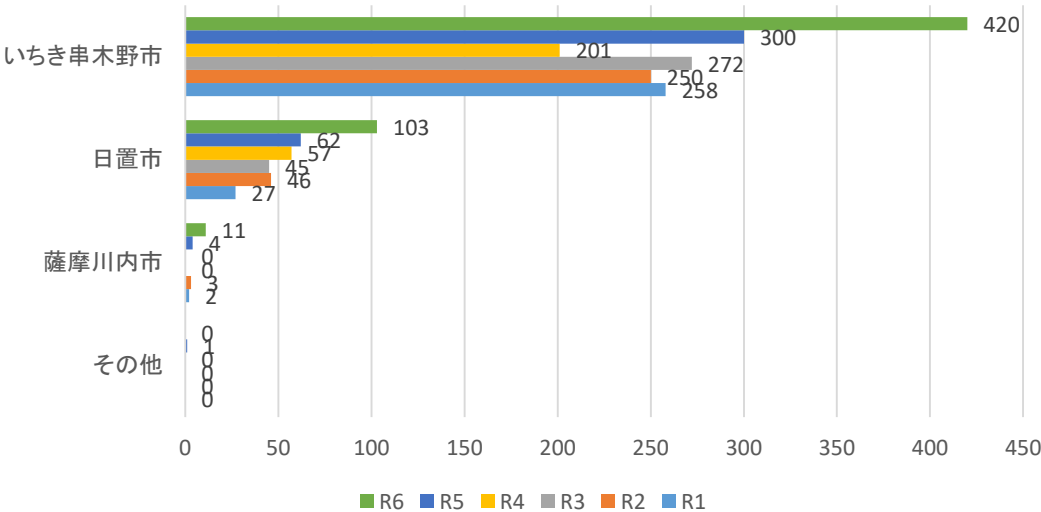
訪問看護提供状況



患者の受け入れ可否



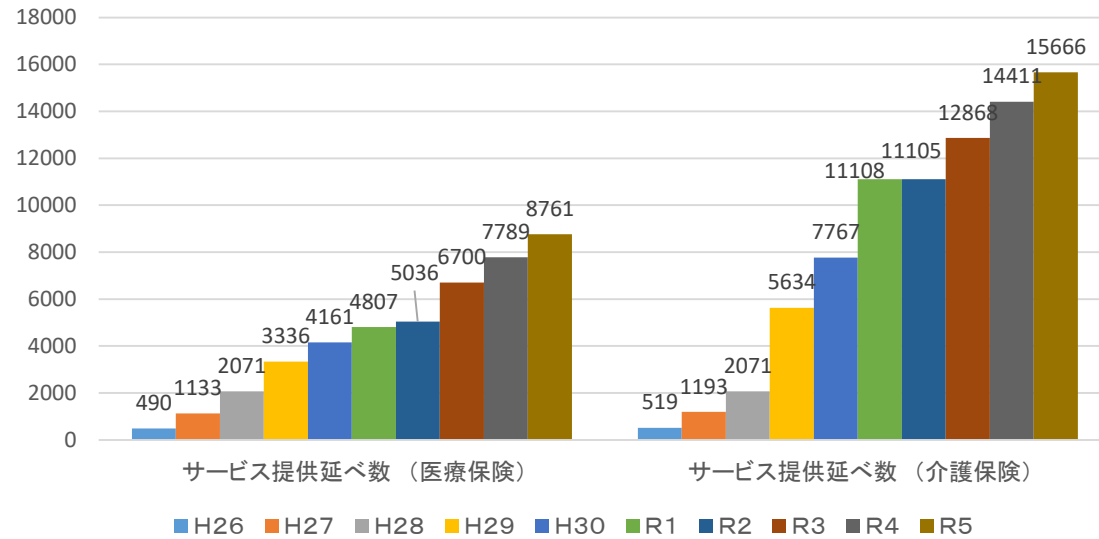
訪問地域別、訪問看護の提供状況



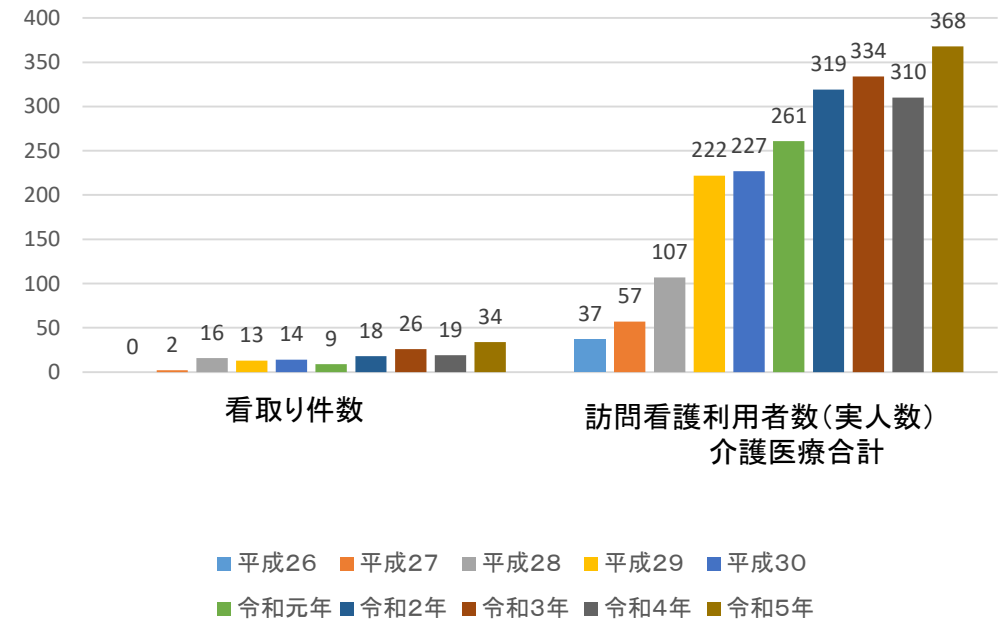
訪問看護利用状況

回答: 訪問看護ステーション4か所 調査期間令和5年度12月現在

サービス提供延べ数

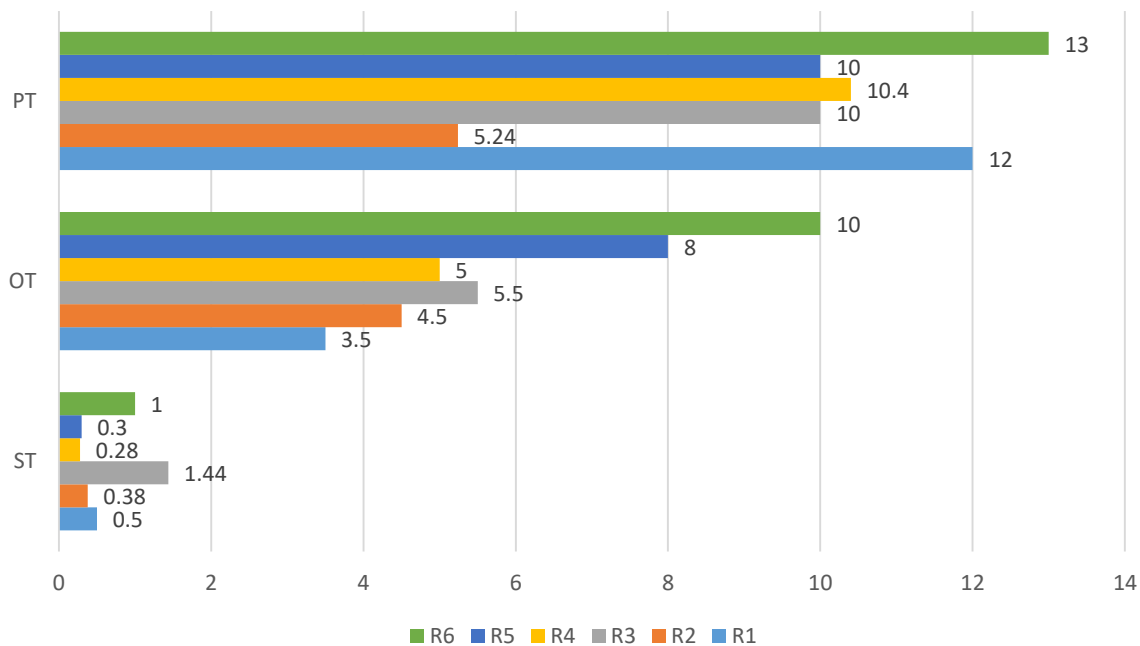


グラフ タイトル

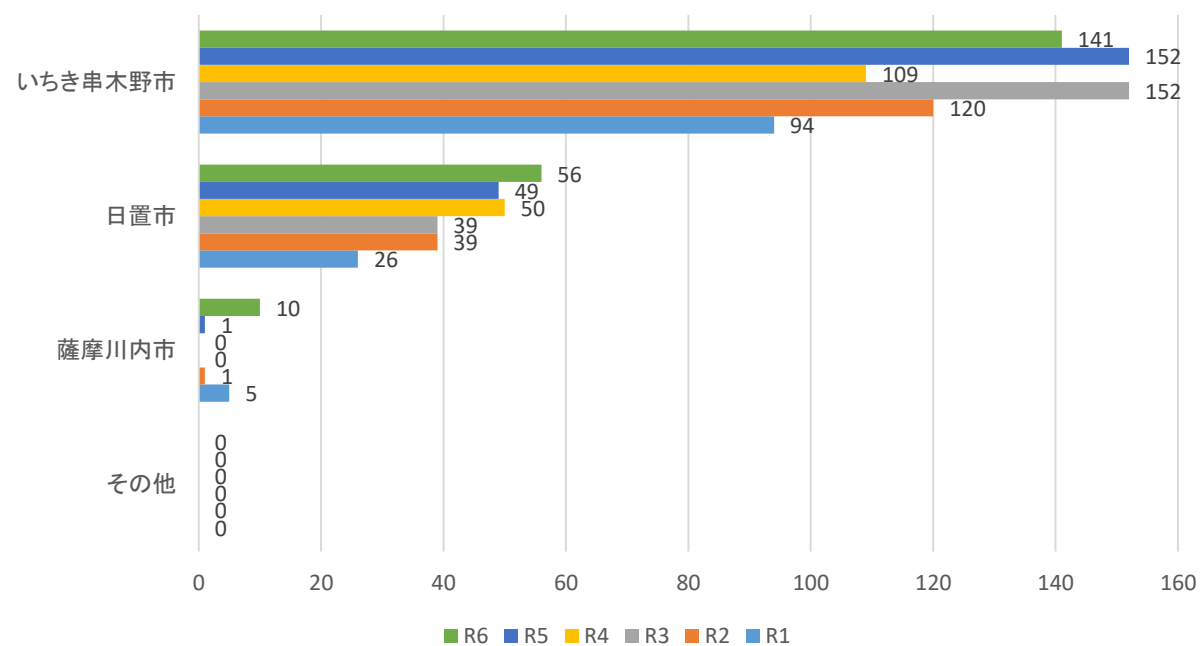


<訪問リハにおける在宅医療提供状況> 回答数7件(訪問リハビリ数8件)87.5% 基準日R7年4月1日現在

訪問リハビリに従事するリハビリ職員
(常勤換算)



訪問地域別、対象期間中のリハビリ提供状況



ご協力よろしく
よろしくお願いいたします

